

静岡フィルハーモニー管弦楽団 特別演奏会

～若き天才ピアニスト、エヴァ・ゲヴォルギャンを迎えて～

演奏曲目

シベリウス：交響詩「エン・サガ(伝説)」作品9
J.Sibelius: "En Saga" Op.9

ハチャトリアン：バレエ音楽「ガイーン」より
A.Khachaturian: from "Gayne Ballet Music"

ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 作品18
S.Rachmanjoff: Piano Concerto No.2 in C Minor, Op.18

ピアノ
エヴァ・
ゲヴォルギャン
Eva Gevorgyan

指揮

篠崎靖男

Yasuo Shinozaki

令和5年 9月2日(土)
静岡市民文化会館大ホール

開場 13:00 開演 14:00

チケット 全席自由 1,500円 前売り発売開始
令和5年6月10日(土)

チケット
取り扱い

すみやグッティ本店 ☎ 054-253-6222 蔦屋書店 静岡本店 ☎ 054-274-2666
静岡市民文化会館 ☎ 054-251-3751 音楽舎 ☎ 054-265-2930
もちづき楽器 清水巴町本店 ☎ 054-353-2314 静岡草薙店 ☎ 054-368-6211

e+ イープラス

[PC/スマホ] <https://eplus.jp>
[直接購入]ファミリーマート



静岡県内の小中高生を100名無料でご招待いたします(事前申し込みが必要です) 申し込み方法や詳細は静岡フィルホームページをご確認ください



東アジア
文化都市
2023 静岡県
Culture City of East Asia
2023 SHIZUOKA

お問合せ 静岡フィル事務局 ☎054-270-3151 ホームページより <http://shizphil.net>

静岡フィル

検索

主催/特定非営利活動法人 静岡フィルハーモニー管弦楽団

共催/静岡市民文化会館(指定管理者)静岡市文化振興財団共同事業体

後援/静岡市、静岡新聞社、静岡放送、特定非営利活動法人 静岡フィルハーモニー管弦楽団後援会

協力/公益社団法人 日本アマチュアオーケストラ連盟

ON
STAGE
SHIZUOKA
まちは劇場

1968年京都生まれ。桐朋学園大学にて指揮を山本七雄、飯守泰次郎の両氏に師事。1993年アントニオ・パドローティ国際指揮者コンクール最高位を受賞。その後ウィーン国立音楽大学指揮科にてレオポルド・ハーガー、湯浅勇治の両氏に師事。2000年には第2回シベリウス国際指揮者コンクールにて第2位を受賞し、ヘルシンキ・フィルを指揮してヨーロッパにデビュー。

2001年ロサンゼルス・フィルの副指揮者に就任。2004年の任期終了までに定期演奏会や夏のハリウッドボウル音楽祭など、オーケストラと非常に密接で充実した関係を築き、その後の活動の礎とした。退任後はロンドンを本拠に、ロンドン・フィル、BBCフィル、ボーンマス交響楽団、フランクフルト放送交響楽団、フィンランド放送交響楽団、スウェーデン放送交響楽団をはじめ、欧州各国の主要オーケストラを指揮。なかでも2007年から2014年7月まで芸術監督・首席指揮者を務めたフィンランド・キュミ・シンフォニエッタでは、ロンドンやサンクトペテルブルクでの公演も大成功させるなど意欲的な活動でオーケストラの目覚ましい発展に尽力、その7年半に渡る在任期間はフィンランドでは異例の長さであり、現在も毎年客演を続けるほど両者は深い信頼関係で結ばれている。

国内では読売日響、東京フィル、日本フィル、東京シティ・フィル、神奈川フィル、名古屋フィル、京都市響、大阪フィル、大阪響、関西フィル、日本センチュリー響、仙台フィル、札幌響、群馬響等の主要オーケストラに登場。静岡交響楽団では2014年9月から2018年3月までミュージック・アドバイザーと常任指揮者を務めた。

近年はドイツのマグデブルク・フィル、南アフリカ共和国のKZNフィル、ヨハネスブルグ・フィル、ケープタウン・フィル等に定期的に客演し、それぞれの地で絶賛を浴びるなど、国内外で活躍を続ける篠崎靖男の正統的なスタイルとダイナミックな指揮は、観客を魅了して止まない。

現在、桐朋学園大学音楽学部非常勤講師(指揮専攻)として後進の指導にも当たっている。



©Benjamin Ealovega

〔指揮〕

篠崎靖男

Conductor *Yasuo Shinozaki*

オフィシャル・ホームページ

<http://www.yasuoshinozaki.com/>



©Shuang Iris Zhang

〔ピアノ〕

エヴァ・ゲヴォルギャン

Pianist *Eva Gevorgyan*

エヴァ・ゲヴォルギャンは2004年ロシア人とアルメニア人の両親のもとでモスクワに生まれる。2022年9月からモスクワ音楽院(大学)に進級した際、記念のソロリサイタルがモスクワ音楽院大ホールで開かれるなどピアノ王国ロシアの新世代で最も期待されている若手。

2021年の第18回ショパンコンクールでは最年少ファイナリストの中で円熟さえ感じられる重厚な表現と鋭い感性、鉄壁のテクニックで会場の聴衆と世界中のリスナーを虜にした。

モスクワ音楽院の名門中央音楽学校でナタリア・トゥルル教授に学ぶとともにロシアン・ピアニズムを代表する巨匠たちに師事。エフゲニー・キーシンやデニス・マツォーフなどの支援を受け研鑽を積んできた。ロシアが誇る天才少女としてロシア大統領やイタリア大統領などの元首に演奏を披露している。

数多くの受賞歴の一例をあげると、セント・チェチリア国際ピアノコンクール第1位、ジュリアーノ・ペカール国際ピアノコンクールグランプリ、若きピアニストのためのショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)第1位、青少年ショパン国際ピアノコンクール(スイス)第1位、ロベルト・シューマンピアノコンクール第1位、シカゴ国際コンクールグランプリ、クリーヴランド国際ピアノコンクール第1位、エスベルクホフクラシックピアノフェスティバル優勝、ロシア国立交響楽団によるコンクールグランプリなど50を超える。

「あとが大事」と言われるショパンコンクールにおいて現在のエヴァの演奏活動は際立っており、モスクワ音楽院に在学しながらロシア、ドイツ、スペイン、フランスなどで月に数回ものコンサートに出演、コンチェルト、リサイタルはもちろん室内楽、歌曲の分野においても傑出した音楽性を発揮している。



NPO法人

静岡フィルハーモニー管弦楽団

Shizuoka Philharmonic Orchestra

静岡フィルハーモニー管弦楽団は1977年9月に静岡市を中心とするアマチュア音楽愛好家によって創立。定期演奏会を中心に年間5回程度の演奏会を行い、これまでの公演回数は190回を超える。この間、海外交流文化親善使節

として、1986年の中国公演(北京、杭州)を皮切りに、1989年アメリカ(オマハ、ボストン)、1992年フランス(カンヌ)・オーストリア(ウィーン)、2001年イギリス(バーミンガム、ロンドン)、2007年イギリス(コベントリー、ロンドン)、2012年中国(杭州)で公演し好評を博した。また、2015年には静岡市・オマハ市の姉妹都市提携50周年記念事業のメインイベントとしてアメリカ・オマハ市で現地のプロオーケストラ、オマハ・シンフォニーとジョイントコンサートを開催し高い評価を得た。創立以来、国内外で活躍する著名な指揮者やソリストと共演を重ね、常に質の高い音楽づくりを目指してきた一方、地域の合唱団、バレエ団等との本格的なオペラ公演、バレエ公演も数多く行ってきた。また、テーマを定めた特別演奏会や室内楽コンサートも開催しているほか、地域貢献活動として様々な施設に音楽を届ける「音楽の花束」事業も積極的に展開している。1987年度静岡県文化奨励賞受賞。団員数95人。